

EASS 2010 Health Module の作成 —JGSS によるプリテストの結果を中心に—

埴淵 知哉

大阪商業大学 JGSS 研究センター

Development of EASS 2010 Health Module:
Results of JGSS Pretest

Tomoya HANIBUCHI

JGSS Research Center

Osaka University of Commerce

We outline the process of developing a cross-national questionnaire for the East Asian Social Survey (EASS) 2010. In particular, we will present the process of questionnaire revisions in the light of the choice of the “Health Module” as the theme of EASS 2010 and the development and results from the JGSS pretest. Although the different research backgrounds of each EASS team made it difficult to reach consensus on theoretical and conceptual frameworks, EASS members share a great deal of interest from the beginning in the social aspect of health and topics related to health in East Asia. During the drafting process of the Health Module we prioritized narrowing down the issues of questionnaire, and this in turn developed our arguments in the Health module. In the context of the JGSS pretest, we adapted the questionnaire so that it reflected the Japanese context, especially questions of family care, living environment, and influenza. The further revisions are aimed towards the implementation of the survey in 2010.

Key Words: EASS, Cross-national study, Health Module

本稿の目的は、東アジア社会調査（EASS）の2010年調査（EASS 2010）における調査票作成の過程を整理することである。「健康モジュール」というテーマの決定から、JGSS プリテストの作成とその調査結果までをあわせて報告する。各チームの背景が異なるために、理論や概念枠組みについて合意を得ることは難しかったが、社会的側面を重視するという基本姿勢と、東アジアに特徴的な問題を扱うという狙いは当初より共有されていた。他方、調査票作成に至るアプローチにはいくつかの方向性が混在していたが、具体的な設問の提案を優先させることで、議論を前進させることが可能となった。JGSS のプリテストでは、介護や居住環境、インフルエンザに関する設問について、日本の状況に合わせた修正案を用いて調査を実施した。2010年の本調査実施に向けて、今後さらに修正を進める予定である。

キーワード：EASS, 国際比較, 健康モジュール

1. はじめに

EASS (East Asian Social Survey) は、日本・韓国・中国・台湾が共同で進める社会調査プロジェクトである。4 カ国・地域共通の設問群 (モジュール) を設定することで、東アジア社会に特有の問題や関心に基づく国際比較分析が可能な公開データの構築を目指している。EASS は、各国・地域の総合的社会調査を担う研究プロジェクトから構成されており、日本は Japanese General Social Surveys (JGSS; 大阪商業大学 JGSS 研究センター)、中国は Chinese General Social Survey (CGSS; 香港科技大学調査研究中心・中国人民大学社会学系)、韓国は Korean General Social Survey (KGSS; 成均館大学サーベイ・リサーチ・センター)、台湾は Taiwan Social Change Survey (TSCS; 中央研究院社会学研究所) がこれにあっている。以下、本稿ではこれら 4 カ国・地域のチームを JGSS (日本チーム)、CGSS (中国チーム)、KGSS (韓国チーム)、TSCS (台湾チーム) で表す。

2003 年にスタートした EASS は、「家族」(Families in East Asia) を調査テーマとした第 1 回調査 (EASS 2006)、「東アジアの文化とグローバリゼーション」(Culture and Globalization in East Asia) をテーマとした第 2 回調査 (EASS 2008) に続いて、現在、第 3 回調査 (EASS 2010) の実施に向けてモジュールの作成作業を進めている。2009 年 2 月には、EASS 2006 データセットを公開し、EASS 2008 については、現在それぞれのチームでデータセットを構築中である。EASS プロジェクトが開始された経緯や、調査票作成のルールと手順については、EASS 2008 のモジュール作成過程を報告した榎木 (2008) および EASS Website (<http://www.eass.info/>) に詳しく述べられている。

EASS 2010 の調査テーマは「東アジアにおける健康と社会」(Health and Society in East Asia) である。Health Module (以下、健康モジュールと表記) は、2007 年 7 月にテーマが決定され、概念や理論の検討から具体的な設問の選択に至るまで一通りのプロセスを経て、2009 年 1 月に JGSS が第 1 回プリテストを実施した。本稿では、この EASS 2010 健康モジュールの作成過程について、現在までの経過を整理して報告する。榎木 (2008) も指摘するように、公開データとして表に出てこない「裏方」の作業をあえて提示することは、蓄積の少ない東アジア地域の国際比較調査の経験を共有するという点で有益といえるだろう。

次項では、EASS の 4 チームによるこれまでの議論の流れを大まかに整理する。続いて 4 チームが現時点で採択した設問と JGSS が実施したプリテストの調査票の内容を詳述する。そして、4. では JGSS のプリテストの結果を提示し、最後に、EASS 2010 本調査 (日本での調査は 2010 年 1 月を予定) に向けて残された検討事項をまとめる。

2. 健康モジュール作成のプロセス

2.1 EASS 2010 のスケジュール

EASS 2010 全体のスケジュールは、表 1 に示すとおりである。2007 年 7 月に開催された香港会議において「健康」というテーマが決定された。その後、各チーム内での検討とメールによるチーム間のやりとりを通して課題と論点を明らかにし、また、大阪、東京、大阪で 4 チームの会議を重ねて、2008 年 11 月にソウルでの会議において調査票の暫定案の作成にこぎつけた。

2009 年 1 月には、ソウル会議で確定した暫定的な調査票をベースとして、他チームに先駆けて JGSS が第 1 回プリテストを実施した。JGSS は、2010 年 1 月に、EASS 2010「健康」モジュールを含む JGSS-2010 の本調査を実施する予定であり、それに合わせたスケジュールを組んで調査の準備を進めている。このプリテストの調査結果をもとにしながら、2009 年 5 月の北京会議、そして 2009 年 11 月の台北会議でさらに検討を重ねて、調査票を確定させる予定である。プリテストの結果については、4. において紹介する。

表1 EASS 2010 スケジュール

日程	名称 (開催地)	内容
2007年7月	EASS GM (香港)	モジュールのテーマの決定
2007年11月	EASS DGM (大阪)	スケジュールの提示
2008年3月	EASS DGM (東京)	スタンスと方向性に関する議論
2008年3月	JGSS 事務局会議、JGSS 全体会議	社会科学的なアプローチに関する議論
2008年5月	JGSS 事務局会議	JGSS 提案設問の素案の検討
2008年6月	EASS DGM (大阪)	調査の時期と方法についての状況確認
2008年11月	EASS 2010 日本チーム研究会	JGSS 提案設問の方向性の確認
2008年11月	EASS GM (ソウル)	各チームからの提案設問の検討
2009年1月	JGSS 第1回プリテスト	東大阪市、20~89歳の男女個人300人、2段無作為抽出法、郵送法
2009年2月 (以下は予定)	EASS 2010 日本チーム研究会	JGSS 第1回プリテストの結果報告
2009年5月	EASS DGM (北京)	設問の選択
2009年8月	JGSS 第2回プリテスト	—
2009年9月	CGSS プリテスト	—
2009年10月	TSCS プリテスト	—
2009年10月	KGSS プリテスト	—
2009年11月	EASS GM (台北)	調査票の確定
2010年1月	JGSS-2010 調査実施	全国、20~89歳の男女個人9,000人、層化2段無作為抽出法、面接法と留置法を併用；留置票は2種類（留置B票にEASS「健康」モジュールを組み込む）
2010年7月	KGSS 調査実施	—
2010年9月	CGSS 調査実施	—
2011年7月	TSCS 調査実施	—

注) GM: General Meeting (全体会議) の略、DGM: Drafting Group Meeting (作成部会) の略。なお、旧 JGSS プロジェクト時には JGSS 事務局会議および JGSS 全体会議において健康モジュールの検討が進められたが、JGSS 研究センターに移行したことに伴い、EASS 2010 専門の研究会を設置して協議が進められている。

なお、EASS 2010 の事務局長は岩井紀子（大阪商業大学・教授、JGSS 研究センター・センター長）、議長は小島宏（早稲田大学社会科学総合学術院・教授）であり、事務局長と議長を JGSS が担当している。

2.2 テーマ決定からソウル会議までの過程

EASS 2010 の作成過程では、「健康」というテーマにどのようにアプローチするのかについての議論が重ねられ、ソウル会議において、各チームが初めて具体的な設問を持ち寄り、暫定的な調査票の設計まで一気に進んだ。そこで本節ではまず、2008年11月に韓国ソウルで開催された General Meeting までの状況について整理する。

2007年度には、3回にわたる国際会議を経て、EASS 2010 の大まかな方向性と基本的なスタンスが確定された。まず、EASS 2010 モジュールのテーマが決定され、全体のスケジュールが設定され、基本的な立場と方向性に関する議論が行われた。この時期の会議では、EASS 2006 のデータ構築や EASS 2008 の調査設計が中心的に議論されており、EASS 2010 に関してはそれほど具体的な議論にまでは至っていなかった。しかし当時の議事録からも、大きな方向性として、EASS 2010 健康モジュールを公衆衛生学や疫学などの専門分野に沿って作成するのではなく、社会科学の立場から、社会調査として健康というテーマに取り組むという視点が共有されていたことが窺える。

2008年度に入ってから、JGSS が主導的に調査票の案を作成し、それを踏まえて他チームがコメントや代替案を提示するというプロセスが中心となった。JGSS では、5月の JGSS 事務局会議から、健康モジュールの設問の具体的な検討を始めた。その準備過程では、国内外のさまざまな先行調査や、尺度の信頼性・妥当性を整理した文献 (McDowell 2006) などを参照しながら、たたき台となる調査

票の作成を進めた。当初議題にあがった設問案のトピックは、健康状態、治療中の（慢性）疾患の有無、メンタルヘルス、飲酒、喫煙、運動、健診受診、通院・入院歴、医療アクセス、医療保険、医療に対する信頼感、補完代替医療、居住環境、受動喫煙、耽溺行動、自殺・外傷、虐待、引きこもり、閉じこもり、ソーシャル・キャピタル、ソーシャル・サポート、健康観・介護観、生命・医療倫理、医療不安、感染症の流行など相当多岐にわたる内容であった。

この中から、健康調査に不可欠な項目、東アジアに特徴的な項目、国際調査に適した項目、全体で60問というモジュールの分量の制約などを基準に、具体的に設問を絞り込み、修正を加えていった。そして完成した調査票案を、JGSS 提案の健康モジュールとして英訳し、他チームに送付した。この調査票案に対しては、他チームからいくつかのコメントが出されたものの、具体的な代替案はソウル会議直前まで寄せられなかったこともあり、EASS 2010におけるJGSS提案の骨格は、この時点でほぼ固まっていた。

このJGSS提案調査票には個々の設問に対する意見も寄せられたが、より広い問題提起として、次のようなものが挙げられた。ひとつは、具体的な調査票の設計や設問の絞り込みを急ぐのではなく、まず理論的土台や概念枠組みを固めてから調査票の議論に移るべきであるという意見、そしてもうひとつは、多数のトピックを数問ずつ入れるのではなく少数のトピックについて詳しく尋ねる、つまり多様化ではなく集中戦略を採用すべきというコメントであった。これに対してJGSSの方針は、EASS 2006とEASS 2008という過去2回の調査経験を踏まえると、各チーム・専門家の概念や理論枠組みを完全に収斂させることは困難であり、具体的な設問提案から議論をスタートさせるほうが建設的であること、また、一般公開データである以上、多くの研究者が利用可能な調査票を設計するべきであるというスタンスであり、この観点から交渉を進めてきた。

JGSSが調査票を提案したすぐ後(6月)に、大阪で会議が開かれた。しかしこの会議では、EASS 2006および2008に関する議論が大半を占め、健康モジュールの内容の検討には至らなかった。さらに、大規模な国際調査であるISSP (International Social Survey Programme) の2011年のテーマが「Health」に決定したことから、EASSとISSPの両方を実施している日本以外の3カ国・地域のチームにおいては、両調査の区分をどのように進めるかという実際的な問題が発生し、議論の多くは調査時期などに集中した。この問題についてはその後さらに検討を進め、JGSSはEASS 2010とISSP2011のモジュールとともに2010年の調査票(1種類)に組み込み、TSCSは2011年に用いる2つの調査票のうち片方にEASS 2010、もう片方にISSP2011のモジュールを組み込む方向で調整している。また、EASSとISSPが「健康」という同じテーマでモジュールを作成するため、トピックについてはなるべく重複を回避するように、現在も引き続き検討を進めているところである。

調査スケジュールを考えると、2008年11月のソウル会議では、可能な限り具体的設問の検討を進めて、プリテストを実施可能な段階にまで健康モジュールを具体化することが求められていた。この会議に向けて、2008年8月には再度上述の論点(理論・概念と設問・調査票のどちらからアプローチするかという問題)について、メールを介した議論が続けられた。そのなかで、JGSSから、各チームが優先的に取り上げたい分野(section)をまず提出するよう、提案がなされた。JGSSはすでに調査票案まで提出していたものの、この提案を承諾し、調査票案に沿った形で優先分野を選択した。

最終的にはすべてのチームが、提示された26の分野に優先順位をつけ、ソウル会議までに提出した。JGSSは、調査票案に沿って、「Alcohol, Tobacco, and Other Drugs」「Epidemiology」「Medical Care」「Others (social support or social networks)」「Others (trust)」を選択した。JGSSはまた、提案設問を「健康モジュールSBV (standard background variable)」と「サブ・トピック」の二つに分けることで、健康を調査するにあたって欠くことのできない基本項目(健康状態や健康行動など)と、個別の関心に基づく項目(医療アクセスや代替医療など)を峻別して議論を進めることを提案した。上記の選択分野はいずれもサブ・トピックに関するものであるが、それ以外の健康状態や健康行動に関する設問は、具体的な設問案はともかくとして、サブ・トピックの設問にかかわらず採用されるべき分野であると位置付けた。

他方、CGSS では「Alcohol, Tobacco, and Other Drugs」「Environment」「Others (social support or social networks)」「Others (health policy)」、KGSS では「Others (social support or social networks)」「Mental Health」「Epidemiology」、TSCS では「Environment」「Mental Health」「Epidemiology」が優先分野にあげられた。また、ソウル会議直前ではあったものの、CGSS と TSCS は、独自の設問案とその概念枠組みを表すチャートを提示した。各チームが選択したトピックを整理すると表2のようになり、全体に共通する関心と、個別の国・地域のみが関心を持っているトピックがあることが分かる。

表2 ソウル会議前に提出された各チームの設問案トピック一覧

	JGSS	CGSS	KGSS	TSCS	ソウル会議での採択設問数
Health status					
Self-rated health	●	●	●	●	保留 (8/12 問)
Physical health	●	●	●		
Mental health	●	●	●	●	
Symptoms				●	9 問
Chronic illness				●	
Diseases under treatment	●				2 問
Height and weight		●		●	
Health behavior / Life habit					
Smoking	●	●		●	3 問
Drinking	●	●		●	3 問
Exercise	●	●		●	1 問
Dietary habit		●			
Sleeping habit		●		●	
Hobby		●			
Beetle nuts				●	
Medical care					
Medical checkup	●	●			1 問
Receiving Medical care	●	●		●	保留
Access to care	●	●		●	
Trust in medical care	●			●	4 問
Alternative Medicine	●				
Medical insurance / Social security insurance					
Medical insurance	●	●			保留
Social security insurance		●			
Social support / Social network / Social capital					
Emotional support	●	●			6 問
Instrumental support		●			
Source of daily living		●			
Social network		●			1 問
Social capital	●			●	
Environment					
Pollution		●			3 問
Socioeconomic disadvantage				●	保留
Allergy					
Allergy	●				
Influenza					
Influenza	●				2 問
Passive smoking					
Passive smoking	●				
Addiction					
Addiction	●				7 問
Family care need and care management					
Family care				●	3 問
Family drinking & violence					
Family drinking & violence				●	
Stigma					
Stigma against mental breakdown			●		6 問

このように、各チームの足並みは、ソウル会議までは必ずしも一致していたわけではない。しかし、各チームの想定する概念枠組み、関心のある分野、そして具体的な設問案が並行して出揃ったことで、事前に互いの関心や状況をさまざまな角度から知ることができ、結果的には、会議で調査票の作成にまで議論を進める土台が完成したといえる。また、ソウル会議までには、各チームがそれぞれ、公衆衛生学や医療社会学を専門とする1~2名の研究者を local expert として EASS 2010 のメンバーに招き、保健・医療・福祉に関する専門的な議論を進める体制も整えた。

3. ソウル会議における設問の絞り込みと JGSS 第1回プリテストの作成

ソウル会議においては、上述したように事前の準備がある程度整っていたこともあり、健康モジュールに採択する具体的な設問の絞り込み作業まで進んだ。表2に示したとおり、基本的には、4チームの関心が重なっているトピックが採択された。しかしその採択までの過程と、日本に持ち帰ってプリテストの調査票として翻訳する作業は、複数の国・地域が参加している国際比較調査の難しさを反映するものであった。

本節では、ソウル会議を経て作成された JGSS プリテストの調査票を資料としながら、当該設問が採択された経緯や意図、問題点などを、順を追って確認する。ソウル会議で採択された設問をベースとして作成された JGSS 第1回プリテストの設問の一覧は表3に、調査票は本文の後ろに掲載する。

3.1 健康状態

まず、健康状態に関するアウトカム指標については、各チーム内で調整が進められていた。どのような分析を行うにしても、健康状態は最も基礎的な変数となる。EASS の性格上、国際的に利用されており信頼性・妥当性が検証されている尺度であり、身体的・精神的健康を含め包括的に健康状態を測定できる尺度が求められた。KGSS は、健康関連 QOL (Health-related Quality of Life) の指標として、26項目からなる WHOQOL-BREF (http://www.who.int/substance_abuse/research_tools/whoqolbref/en/) を提案した。しかし EASS のモジュールとしては分量が多すぎることから、ソウル会議では代替案として SF-12 もしくは SF-8 が提案された。SF-12 および SF-8 は、健康関連 QOL の包括的尺度である SF-36 (Medical Outcomes Study 36-Item Short-Form Health Survey) の短縮版である(福原・鈴嶋 2004、竹上・福原 2009)。JGSS 第1回プリテストでは、諸般の事情から SF-8 を利用することになったが、国際的な利用状況などを考慮して、本調査では SF-12v2 を利用する方向で検討を進めている。

次に、現在の健康状態に大きく影響する要素として、治療中の疾患に関する設問を導入することになった。ここでは、分量の制約上、あらゆる疾患について詳しく尋ねることはできないため、対象とする疾患と質問内容の絞り込みが求められた。国・地域全体の代表サンプルという対象の性質上、比較的健康な住民が多くを占めること、また重度の疾患の場合にはそもそも回答が困難であると想定されるため、4カ国・地域に共通して比較的多くのケースが該当すると考えられる疾患を選択した。結果として、高血圧、糖尿病、高脂血症(脂質異常症)の3つが選択され、それぞれについて診断の有無、時期、治療状況を探ることになった。

CGSS と TSCS から提案された身長と体重については、当初、具体的な数値を尋ねることで回答拒否が増えるのではないかと懸念があったが、カテゴリ値では BMI の算出に支障をきたすため、実数を尋ねることとし、プリテストの結果を確認することになった。また、JGSS プリテストでは、日本で健康との関連が報告されている生きがいとストレスに関する設問も1問ずつ組み込んだ。

3.2 健康行動

喫煙に関しては、従来 JGSS でも継続的に取り上げてきた設問であるが、健康モジュールでは現在喫煙しているかどうかに加えて、過去の経験を含めて毎日喫煙している(していた)期間を探ることが提案された。ソウル会議で採択された設問案には若干の論理的な不整合性が残されていたため、プリテストでは、まず今までに吸ったことがあるかないかを尋ね、枝分かれ設問のなかで、現在の喫

表3 JGSS 第1回プリテストの設問一覧

健康状態		30	入院経験	インフルエンザ	
1	SF-8：全体的健康感	31	通院頻度	49	予防接種
2	SF-8：身体機能	32A	医療を受けられない不安	50	流行の不安
3	SF-8：日常役割機能（身体）	32B	医療費を払えない不安	51	新型の認知
4	SF-8：体の痛み	33	通院を控えた経験	52	新型流行の不安
5	SF-8：活力	34	通院を控えた理由	耽溺行動	
6	SF-8：社会生活機能	35A	代替医療（鍼・灸）	53A	（本人）飲酒
7	SF-8：心の健康	35B	代替医療（漢方薬）	53B	（本人）ギャンブル
8	SF-8：日常役割機能（精神）	35C	代替医療（指圧・マッサージ）	53C	（本人）ネットゲーム
9	診断の有無（高血圧）	35D	代替医療（温泉）	54A	（家族）飲酒
10	初めての診断時期（高血圧）	36	公的医療保険への加入状況	54B	（家族）喫煙
11	治療の有無（高血圧）	37	保険料の支払	54C	（家族）ギャンブル
12	診断の有無（糖尿病）	38	私的医療保険	54D	（家族）ネットゲーム
13	初めての診断時期（糖尿病）	社会的サポート・信頼		介護	
14	治療の有無（糖尿病）	39	情緒的サポートの有無	55	ケアのニーズ
15	診断の有無（高脂血症）	40	情緒的サポートの提供者	56	ケアの受領者
16	初めての診断時期（高脂血症）	41	経済的サポートの有無	57	ケアを受ける場所
17	治療の有無（高脂血症）	42	経済的サポートの提供者	58	ケアの程度
18	身長	43	手段的サポートの有無	59	ケアの提供者
19	体重	44	手段的サポートの提供者	精神的健康	
20	生きがい	45	人間観（一般）：人は信用できる	60	本人の治療経験
21	ストレス	46	人間観（一般）：人間の本性	61	友人の健康状態
健康行動		環境		62	友人の治療経験
22	喫煙経験	47A	大気汚染	63	公共の場での視認
23	喫煙状況	47B	水質汚染	64	公共の場での感じ方
24	喫煙期間	47C	騒音被害	基本属性	
25	飲酒頻度（EASS）	47D	日照被害	65	性別
26	飲酒量	48A	近隣環境（散歩）	66	年齢
27	多量飲酒	48B	近隣環境（信頼）	67	家族構成
28	運動	48C	近隣環境（立ち話）	68	学歴
29	健康診断	48D	近隣環境（ゴミ）	69	従業上の地位
医療・保険		48E	近隣環境（安全）	70	職種

煙状況と毎日喫煙している（していた）期間を尋ねるという形式に修正した。

飲酒については、WHOにより作成された問題飲酒指標であるAUDIT（The Alcohol Use Disorders Identification Test）（Babor et al. 2001）の設問から、飲酒の頻度、飲酒量、多量飲酒の頻度を尋ねる3問のみをプリテストに導入した。この設問では通常想定されるアルコール含有飲料の種類が、国・地域によって異なるため、各国・地域ごとに例をあげて単位を揃えるよう設計されている。そのため、単位で尋ねる場合と、アルコール換算で尋ねる場合があるが、いずれにしても若干の計算が必要とされるため、プリテストで回答状況を確認することになった。また、喫煙・飲酒以外にも、保健行動に関する設問として、運動習慣が1問採択された。

3.3 医療・保険

医療・保険に関する設問は採択には至らず、次回以降の会議に持ち越されることになった。ただし、健康診断の受診については健康行動の指標として採択され、また代替医療についても、東アジアに特徴的な設問として先行的に採択された。

JGSSのプリテストではJGSSが提案していた医療・保険設問をそのまま導入している。JGSSの医療設問は、入院・通院の頻度と医療アクセスの問題、医療不安を問うものとなっている。類似の設問は、JGSS-2008にもいくつか組み込んでいる。これらの設問は、近年日本で社会問題化している医療不安や医療アクセスの問題を念頭に置いており、他国・地域の実情に照らして意味のある設問となる

かどうかは、今後の議論次第である。

保険については、各国・地域の制度が異なるため、共通の設問を厳密に設定することは困難であると予想される。公的保険に加入しているかどうか、民間の医療保険に加入しているか、誰がどの程度の保険料を負担しているのかなどについて共通の設問で尋ねることが可能かどうかは、今後の大きな検討課題になると思われる。また日本だけを例にとっても、国民皆保険の制度の下にありながら、実際には保険料の納付率や滞納者の受診率の低さが社会問題化しており、形式的な加入の有無だけでは実態を反映しない可能性がある。プリテストでは、公的医療保険の支払いに関して、「支払えない状態が続いている」という選択肢を設け、どの程度の割合で回答が分布するかを確認することにした。

3.4 社会的サポート・信頼

以上の質問は、一般的な健康調査でもよく用いられる設問であるのに対して、ここからは、回答者を取り巻く社会や地域の環境についての設問や個別の特徴的な設問から構成される。

まず、ソーシャル・サポートについては、健康と関連の深い社会的側面の一つとして、TSCS 以外の3チームが優先トピックとして挙げていた。しかし、トピックとしては合意が得られやすかった反面、具体的な設問レベルの議論となると、限られた分量にどう納めるのかという現実的な制約が問題になった。ソーシャル・サポートといっても、情緒的/手段的、受領/提供などさまざまな側面からの測定が試みられており、またサポートの相手や、内容、頻度など、実に多様な面が考えられるためである。さらに、社会的なサポート関係そのものに踏み込み過ぎると、EASS 2006 の家族モジュールや EASS 2008 の文化モジュールにおける家族の世代間関係や社会的ネットワークの設問と重複する可能性もあるため、EASS 2010 ではこのトピックに多くの分量を割かず、最低限必要な6問（情緒的・手段的・経済的サポートの受領経験と、その提供者）に絞り込まれた。

社会的な信頼についても、ソーシャル・キャピタルの変数としてよく用いられる一般的信頼感のみが採択された。なお JGSS プリテストでは、人間観に関する JGSS 継続設問も組み込んでいた。

3.5 環境

環境に関しては、CGSS が提案した公害・汚染に関する設問が採択され、TSCS が提案した地域の社会経済的環境に関する設問はトピックとしては採択するが、具体的設問については会議後に相談することになった。公害・汚染については、ソウル会議では、大気・水質・騒音の3つのみが採択され、スケールも3点尺度であったが、JGSS プリテストでは、日本の居住環境に照らして日照被害を加え、またそれほど大きな被害にあっているケースが少ないことを想定して、4点尺度に変更した。このように、国・地域によって状況の異なるテーマを扱う場合には、設問だけでなく尺度の設定についても問題となることが多い。JGSS がプリテストの段階で独自に加えた修正点については、プリテストの結果を確認したうえで、修正案を他チームに提示する予定である。

地域の社会経済的環境については、ソウル会議後に TSCS から示された文献 (Mujahid et al. 2007) をもとに、JGSS が設問を検討した。近隣の環境に関する36の設問のうち5問のみを抽出し、それを参考にしながら日本の状況に合わせて質問文および選択肢を作成し、プリテストに組み込んだ。この設問についても、JGSS プリテストの結果を資料として、2009年5月に予定されている北京会議で議論することになる。

3.6 インフルエンザ

以下の設問は、健康全般に広くかかわるというよりも、個別の特徴的なトピックとして採択されたものである。まず、インフルエンザの予防接種を受けているかどうかと、深刻な感染症の流行に対する不安感の2問が、ソウル会議では採択された。この設問はもともと、最近ニュースなどで大きく取り上げられている新型インフルエンザに関連して、JGSS が提案したものである。しかし、日本以外の国・地域では、まだそれほど報道などで取り上げられておらず、「新型インフルエンザ」が何を指すの

か回答者が分からない可能性があるという指摘を受けて、ソウル会議では「深刻な感染症」という表現に変更された。

ところが、プリテスト作成のための日本語への翻訳過程において、「深刻な感染症」では逆に何を意味するのか分からないという意見が出され、JGSSのプリテストでは、まず、どの程度の割合で新型インフルエンザが認知されているのか、それに対する不安は例年の（新型ではない）インフルエンザとどの程度異なるのかを把握するべく、「インフルエンザ」と「新型インフルエンザ」のそれぞれについて個別に尋ねることにした。「感染症」や「新型インフルエンザ」という用語が各国・地域の回答者にどのようなイメージで受け取られるのかについて、継続して議論を行う必要がある。

3.7 耽溺行動

次のトピックとして、本人および家族などの同居者の飲酒やギャンブルへの依存状態について尋ねる設問が採択された。ここでは、本人が「やりすぎている」と感じるか、他人から「やりすぎ」と注意されることを判断基準として、飲酒、ギャンブル、ネットゲームについてそれぞれ二択で尋ねる形式をとっている。同居者に関しては、上記に加えて喫煙についても項目が設けられた。ネットゲームについては、どの程度のケースが該当するか現状では不明であるが、新しいトピックとして採択され、プリテストにも組み込まれることとなった。

3.8 介護

TSCSによって提案された介護に関する設問は、ソウル会議で検討された結果、WHOの設問から、家庭におけるケアニーズの有無、ニーズの程度、およびケアの提供者が誰であるかについての3問を採択した。この設問については採択する段階でも問題となったが、台湾と中国における介護の状況と、日本と韓国における介護の状況は異なる。台湾と中国では家庭での介護が中心であるが、日本と韓国では必ずしもそうではない。また、日本語に翻訳する過程で、病院や施設に入所しているケースの取り扱いが考慮されていないという問題だけではなく、ケアを必要とする人が複数いる場合に回答できないなどの問題が浮き彫りになった。しかし、分量の制約から、すべてのケアの提供者と受領者の関係をフォローするといった詳しい設問群は導入不可能であり、JGSSのプリテストでは暫定的に、複数の場合は誰について尋ねているかを限定せず、複数回答を許すという形式をとることにした。

JGSSプリテストでは、ひとまず複数回答を許す形で該当ケースがどの程度あるのか実態を把握し、北京会議で修正案を提示する予定である。家族介護への依存度など、国・地域における介護環境の違いを考慮すると、国・地域ごとの介護の実態を明らかにするのか、回答者の介護負担を明らかにするのかなど、設問導入の目的に応じて方向性を絞って、設問を組み立て直す必要がある。

3.9 精神的健康

最後に、KGSSから提案された精神的健康に関する設問を6問採択することになった。もともとなったのは、アメリカのGSS2006で尋ねられた精神的健康問題へのスティグマに関する設問であり、その一部を抜き出したものである。しかし、精神的健康の問題に対する意識を問うことは、尋ね方や表現の上で許容される形でなければ、調査に対する反発や拒否を招く。米国で実施された調査の設問を日本語に翻訳したところ、そのままの表現では質問が困難であると判断されたため、JGSSのプリテストでは大幅な修正を加えることにした。北京会議では、プリテストの回答状況に基づいて、設問の修正案を提示する予定である。

3.10 国際比較調査における困難性

社会状況や文化的背景の異なる国・地域における国際比較調査には、多くの困難な問題がある。研究者の関心は高いが、各国・地域の社会状況によって尋ねることが難しい設問もあれば、ある国・地域では関心の高いテーマであったとしても、他の国・地域においてそれほど問題となっていないよう

な項目もある。このような設問は、モジュールに組み込まれないことが多い。

また、採択された設問の中にも、上述のように、医療・保険に関する制度、介護やサポートの実態、居住環境や感染症への意識などは、身長・体重といった客観性の高い指標とは異なり、それをどう測定するかという点で多くの困難がある。国・地域によって背景や実情がさまざまであるため、4カ国・地域に共通して過不足のない設問とするためには、プリテストの結果を踏まえてさらに各国・地域の状況を詳しく理解した上で修正する必要がある。

4. JGSS 第1回プリテストの実施

4.1 調査の概要

JGSSによる第1回プリテストの概要は以下のとおりである。東大阪市に居住する20-89歳の男女から2段階抽出した300人を対象に、2009年1月に郵送法で調査票を配布し、同じく郵送にて回収した。有効回収数は170、転居・住所不明の4名を除いて計算した回収率は57.4%である(2009年2月25日時点)⁽¹⁾。EASS 2008の場合には、質問文のワーディングや選択肢が一部異なるA票とB票の2種類の調査票を用いて結果を比較するという手法がとられたが、今回は調査時点においてワーディングや選択肢をめぐって大きく意見が分かれるといった状況になかったため、調査票は1種類のみとした。

4.2 調査の結果と修正案

プリテストで得られた回答の度数分布表は、本稿の末尾(プリテスト調査票の後ろ)に示している。以下では、調査結果の概要と、それを踏まえて2009年2月に開催されたEASS 2010日本チーム研究会において提案された修正案を、調査票の順に沿って簡単に整理する。

まずSF-8について、個別には分布の偏りの大きい設問もあるが、8問への回答から算出される合成得点である身体的/精神的サマリースコア(福原・鈴嶋2004)についてはおおむね正規分布に近い結果が得られた。本調査では、12問から構成されるSF-12v2を利用する予定である。

疾患の有無については、「あなたはこれまでに〇〇〇と診断されたことがありますか。」という尋ね方が、疾患の有無ではなく、「〇〇〇の検診を受けたかどうか」を問う設問と受け取られる可能性が指摘された。そこで、「あなたはこれまでに、医師により〇〇〇であると診断されたことがありますか。」というように、若干の表現の修正を行うことになった。また、健康状態やその他変数の交絡として高血圧・糖尿病・高脂血症以外の疾患についても尋ねる必要性が指摘されたが、分量の制約から、慢性疾患の有無を問う1問のみの追加をEASSに提案することになった。

次に、回答拒否が懸念された身長と体重については、無回答が3%以下と少数であったことから、本調査においても実施可能であると考えられた。またJGSSプリテストのみに組み込んでいた生きがいとストレスに関しては、それぞれ1問の設問ながら、SF-8サマリースコアとの関連も確認されたことから、EASSに追加採択を提案する予定である。

健康行動について、まず喫煙に関しては、毎日喫煙している(していた)期間を尋ねる設問のうち、「月」については無回答が多数みられたため、「年」だけを尋ねる形式にするかどうかEASSで再度検討する予定である。飲酒に関しては、先に述べたとおり、WHOにより作成された問題飲酒指標AUDITの一部を組み込んだが、最初の設問(飲酒頻度)でお酒を「飲まない」と回答した場合に以降の設問(飲酒量、多量飲酒)に回答できないという問題があり、枝分かれにすべきであるとEASSに修正を提案することになった。また、飲酒量の単位についても、理論上は0.5単位という少数点以下の値を取りうるにもかかわらず、プリテストの選択肢ではこの点が考慮されていないことから、選択肢についてもEASSに再検討を提案することになった。

続いて、医療アクセスおよび医療保険に関する設問では、通院を控えた理由としての「保険が使えない」や、保険料の支払いにおける「支払えない状態が続いている」という回答が、ケースとしては得られなかった。ただし、これらの設問はEASSでの採択自体が保留となっているため、具体的な修正案の検討は次回の国際会議を待って進めることになった。また、代替医療の設問には、時期を設定

すべきというコメントがあったことから、「これまでに」受けたことがあるかを尋ねる形式への変更を提案する予定である。代替医療の種類に関して、今回は「温泉療法」と表現した結果、該当ケースが著しく少なかったため、「療法」という語句を削除し、「温泉」という表現に修正する予定である。

社会的サポートに関する設問では、特に経済的サポートと手段的サポートに関して、提供者が「同居家族」と「その他の親族」に大きく偏った分布を示した。この点は、国・地域によって分布が異なることが予想されるため、特に現段階で選択肢そのものの削除などは必要ないと考えられる。ただし、サポートの提供者を尋ねる設問の選択肢として、同居していない家族の扱いが不明瞭であることから、「その他の親族（同居していない家族を含む）」と説明を補足することになった。

次に、環境汚染・被害の設問は、ソウル会議での採択設問から選択肢を4点尺度に変更してプリテストを実施したため、どの程度の割合で被害を受けているという回答がみられるのか、分布の偏りを確認した。結果として、修正後の選択肢であっても回答は被害の無い方に大きく偏るが、「多少の被害」を受けているという回答が一定数得られたため、このデータをもとに4点尺度への変更をEASSに提案することになった。

インフルエンザについては、調査時期が流行時期に近く、またニュース等で「パンデミック」が大きく取り上げられたこともあり、回答から高い不安感が窺えた。特に、新型インフルエンザの認知度は約94%と極めて高く、不安感も例年のインフルエンザよりも高い傾向にあった。この結果を踏まえ、EASSには、「新型インフルエンザ」の不安感を尋ねる設問への再修正を提案する予定である。

介護に関しては、ケアを必要としている人と「一緒に暮らしている」ケース（12）よりも「別の家で暮らしている」ケース（21）のほうが多く、「病院・施設に入所している」ケース（8）も一定の割合を占めた。このことから、同居に絞ってケアのニーズなどを尋ねる当初案は、やはり日本の場合には難しいことが示された。また、ケアの受領者と提供者を網羅することは分量的にも不可能であり、より少数の設問から回答者の介護負担感を測定できるような設問への修正が求められる。本設問の修正の必要性をEASSに主張した上で、当初の提案チームであるTSCSに修正案の提示を求める予定である。

精神的健康問題に関する設問は、プリテストの段階で表現を大幅に修正していた。その結果、これらの設問に対する回答拒否（無回答）の割合はそれほど高くないことが示された。したがって、日本では当初案の表現では調査の実施が不可能であり、プリテストの設問であれば許容されるということの説明した上で、他チームの状況も考慮して慎重に表現の再検討を進める必要がある。

最後に、ケース数としては多くないと考えられるものの、回答者が妊娠中である場合に体重や通院状況の回答に大きく影響することから、妊娠中かどうかを尋ねる必要性について、新たな検討事項としてEASSに提案することになった。

以上の内容は、JGSS第1回プリテストの結果とそれを踏まえた修正案として他チームに送付され、2009年5月の北京会議で本格的に議論される。その後さらに、各チームによるプリテストを実施し、2009年11月の台北会議において調査票を最終的に確定させる予定である。

5. おわりに

本稿では、EASS 2010 健康モジュールの作成過程を記述してきた。その中には、国際比較調査一般に共通する問題もいくつか含まれているように思われる。国・地域や研究分野が異なる研究者が一つの調査票設計にかかわることは容易な作業ではなく、理論・概念から具体的な設問に至るまで、さまざまな問題が議論され、調整されることの反復作業となる。たとえばEASS 2010 健康モジュールの場合は、東アジアに特有の問題を扱うことや社会的側面を重視することには了解を得やすかったが、トピックの選択（少数のトピックを詳しく尋ねるか、多数のトピックを広く尋ねるか）やアプローチの方向性（理論から詰めるか、設問から詰めるか）をめぐることは、意見の調整を必要とした。

このような調整のプロセスにおいて、言葉（英語）による議論を繰り返すだけでは、専門や文化的背景の異なる研究者間の議論がうまく収斂するとは限らない。そのために、EASSではプリテストを

重視しており、その結果を各チームが持ち寄ることで、データに基づく具体的な議論を可能としている。本稿で紹介した JGSS 第 1 回プリテストは、今後の EASS 会議における主要な参考資料となる。スケジュール的にはさほど余裕のない中で、ソウル会議において集中的に設問の絞り込みを行い、その 2 カ月後にプリテストの実施にまで至ったのは、過去 2 回の EASS モジュール作成の経験が生かされた結果であるともいえるだろう。

EASS 2010 健康モジュールは、サンプル数や横断調査というデザインだけを取り出せば、何らかの個別仮説の検証を目的とする大規模な疫学研究への利用は限定される。しかし、東アジア 4 カ国・地域の代表サンプルを用いた国際比較が可能なこと、幅広い健康設問や社会経済的指標との関連が分析できることなど、より広い枠組みでの国際比較研究や、仮説生成に向けた探索的分析において大きな可能性のあるデータといえる。このような強みを念頭に置きつつ、最終的なモジュール確定、調査実施、そしてデータ構築を進めていくことが、今後の課題となる。

[注]

- (1) 回収したサンプルには、性別（男性 83、女性 84、無回答 3）や年齢（下表）の著しい偏りは認められなかった。

年齢	人口		回収標本		
	N	比率	有効 回収数	期待値	残差 [※]
20-29歳	58,293	0.14	20	23.7	-0.76
30-39歳	80,114	0.19	29	32.5	-0.62
40-49歳	65,872	0.16	31	26.8	0.82
50-59歳	64,204	0.16	18	26.1	-1.58
60-69歳	76,158	0.19	34	30.9	0.55
70-79歳	48,438	0.12	30	19.7	2.33
80-89歳	18,006	0.04	5	7.3	-0.86
計	411,085	1.00	167	167.0	0.00
		無回答	3		
		合計	170	100.0	

※残差= (有効回収数-期待値) ÷ √期待値

[参考文献]

- Babor, Thomas F., Higgins-Biddle, John C., Saunders, John B. and Monteiro, Maristela G., 2001, *AUDIT: The Alcohol Use Disorders Identification Test: Guidelines for Use in Primary Care, second edition*, http://whqlibdoc.who.int/hq/2001/WHO_MSD_MSB_01.6a.pdf (最終閲覧日: 2009年2月2日)
- 榎木美樹, 2008, 「EASS 2008 Culture Module の作成—JGSS によるプリテストの結果を中心に」『日本版 General Social Surveys 研究論文集』7: 195-232.
- 福原俊一・鈴嶋よしみ, 2004, 『SF-8™日本語版マニュアル』NPO 健康医療評価研究機構.
- McDowell, Ian., 2006, *Measuring Health: A Guide to Scales and Questionnaires Third Edition*, Oxford University Press.
- Mujahid, Mahasin S., Diez Roux, Ana V., Morenoff, Jeffrey D. and Raghunathan, Trivellore., 2007, “Assessing the Measurement Properties of Neighborhood Scales: From Psychometrics to Econometrics”, *American Journal of Epidemiology* 165: 858–67.
- 竹上未紗・福原俊一, 2009, 『SF-36 活用編 誰も教えてくれなかった QOL 活用編—測定結果を研究・診療・政策につなげる』NPO 法人 健康医療評価研究機構 (iHOPE) .

2009年1月
郵送調査票



文部科学大臣認定
日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

東アジアの健康と社会 に関する国際比較調査

調査企画・実施：大阪商業大学 JGSS 研究センター

<調査の趣旨と記入方法>

- ・この調査は、東アジアにおける健康と社会に関する学術目的の調査です。
あなたがどのような考え方をおもいなのか、簡単な質問でおたずねします。
- ・調査の結果は、統計的に処理されますので、プライバシー等の面でご迷惑をおかけすることは決してございません。どうか調査にご協力下さいますようお願い申し上げます。
- ・お答えは、あてはまる回答の番号（1 2 3……）を○印で囲んでください。番号を1つだけ選んでいただく場合と、あてはまるものをすべて選んでいただく場合があります。

(記入例) 問6 あなたの性別を教えてください。

① 男性 2 女性

- ・ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください。
できるだけ早い時期にご返送いただければ幸いです。
- ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。

はじめに、あなたの健康状態についておかがいします。

問1. 全体的にみて、過去1ヵ月間のあなたの健康状態はいかがでしたか。

1	2	3	4	5	6
最高に良い	とても良い	良い	あまり良くない	良くない	ぜんぜん良くない

問2. 過去1ヵ月間に、体を使う日常活動（歩いたり階段を昇ったりなど）をすることが身体的な理由でどのくらい妨げられましたか。

1	2	3	4	5
ぜんぜん妨げられなかった	わずかに妨げられた	少し妨げられた	かなり妨げられた	体を使う日常活動ができなかった

問3. 過去1ヵ月間に、いつもの仕事（家事も含みます）をすることが、身体的な理由でどのくらい妨げられましたか。

1	2	3	4	5
ぜんぜん妨げられなかった	わずかに妨げられた	少し妨げられた	かなり妨げられた	いつもの仕事ができなかった

問4. 過去1ヵ月間に、体の痛みはどのくらいありましたか。

1	2	3	4	5	6
ぜんぜんなかった	かすかな痛み	軽い痛み	中くらいの痛み	強い痛み	非常に激しい痛み

問5. 過去1ヵ月間、どのくらい元気でしたか。

1	2	3	4	5
非常に元気だった	かなり元気だった	少し元気だった	わずかに元気だった	ぜんぜん元気でなかった

問6. 過去1ヵ月間に、家族や友人とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか。

1	2	3	4	5
ぜんぜん妨げられなかった	わずかに妨げられた	少し妨げられた	かなり妨げられた	つきあいができなかった

問7. 過去1ヵ月間に、心理的な問題（不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり）に、どのくらい悩まされましたか。

1	2	3	4	5
ぜんぜん悩まされなかった	わずかに悩まされた	少し悩まされた	かなり悩まされた	非常に悩まされた

1

問 8. 過去1ヵ月間に、日常行う活動（仕事、学校、家事などのふだんの行動）が、心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか。

- | | | | | |
|------------------|---------------|-------------|--------------|-------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ぜんぜん
妨げられなかった | わずかに
妨げられた | 少し
妨げられた | かなり
妨げられた | 日常行う活動が
できなかった |

問 9. あなたはこれまでに高血圧と診断されたことがありますか。

1 はい	2 いいえ
---------	----------

問 10. はじめてそう診断されたのはいつですか。

昭和 年 月頃

平成 年 月頃

問 11. この2週間に、高血圧の治療を受けたり、薬を飲んだりしましたか。

1 2
はい いいえ

問 12. あなたはこれまでに糖尿病と診断されたことがありますか。

1 はい	2 いいえ
---------	----------

問 13. はじめてそう診断されたのはいつですか。

昭和 年 月頃

平成 年 月頃

問 14. この2週間に、糖尿病の治療を受けたり、薬を飲んだりしましたか。

1 2
はい いいえ

(次のページにお進みください)

問 15. あなたはこれまでに高脂血症（脂質異常症）と診断されたことがありますか。

1 はい	2 いいえ
---------	----------

問 16. はじめてそう診断されたのはいつですか。

昭和 年 月頃

平成 年 月頃

問 17. この2週間に、高脂血症の治療を受けたり、薬を飲んだりしましたか。

1 2
はい いいえ

問 18. あなたの身長を教えてください。

メートル センチ

問 19. あなたの体重を教えてください。

キログラム

問 20. 日常生活の中でどのくらい生きがいや張り合いがありますか。

- | | | | |
|-------|--------|-------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 非常にある | ある程度ある | あまりない | まったくない |

問 21. 日常生活の中でどのくらい精神的疲労やストレスを感じますか。

- | | | | |
|-------|---------|---------|----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| よく感じる | ときどき感じる | あまり感じない | まったく感じない |

ここからは、あなたの生活習慣についておうかがいします。

問 22. あなたは今までに煙草（タバコ）を吸ったことがありますか。

<p>1 吸ったことがある</p>	<p>2 吸ったことはない</p>
-----------------------	-----------------------

1 毎日 吸っている	2 毎日ではないが 吸うことがある	3 現在は まったく吸わない
------------------	-------------------------	----------------------

問 24. あなたが毎日煙草（タバコ）を吸っていた期間は、合計でどのくらいですか。

<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> 年	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> カ月間
-----------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------

問 25. あなたはお酒（アルコール含有飲料）をどのくらいの頻度で飲みますか。

1 飲まない	2 1カ月に 1回以下	3 1カ月に 2～4回	4 1週間に 2～3回	5 1週間に 4回以上
-----------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

問 26. 飲酒するときには通常どのくらいの量を飲みますか。

ただし、日本酒 1合=2単位、ビール大瓶 1本=2.5単位、ウイスキー水割りダブル 1杯=2単位、焼酎お湯割り 1杯=1単位、ワイングラス 1杯=1.5単位、梅酒小コップ 1杯=1単位

1 1～2単位	2 3～4単位	3 5～6単位	4 7～9単位	5 10単位以上
------------	------------	------------	------------	-------------

問 27. 1度に6単位以上飲酒することがどのくらいの頻度でありますか。

1 ない	2 1カ月に 1回未満	3 1カ月に 1回	4 1週間に 1回	5 毎日あるいは ほとんど毎日
---------	-------------------	-----------------	-----------------	-----------------------

問 28. あなたは週に何回くらい運動したり汗をかく活動を行いますか。

1 まったく しない	2 週 1回 未満	3 週 1回	4 週 2～3回	5 週 4～6回	6 週 7回 以上
------------------	-----------------	-----------	-------------	-------------	-----------------

問 29. あなたは過去3年の間に、健康診断を受けましたか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

4

ここからは、医療や保険に関することをおうかがいします。

問 30. あなたはこれまでに、1週間以上の入院をしたことがありますか。

1 10回以上 ある	2 5回程度 ある	3 2～3回程度 ある	4 1回だけ ある	5 まったく ない
------------------	-----------------	-------------------	-----------------	-----------------

問 31. 過去1年間に、あなたほどのくらいの頻度で、病院や診療所（歯医者も含む）に行きましたか。あなた自身の病気やケガによるものについてお答えください。付き添いやお見舞いは除きます。

1 ほとんど 毎日	2 週に 数回	3 週に 1回程度	4 月に 1回程度	5 年に 数回	6 年に 1回程度	7 まったく ない
-----------------	---------------	-----------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------

問 32. ご自身やご家族の将来のことを考えたとき、以下の点についてどの程度不安を感じますか。

A 必要なときに医療を受けられない

1 非常に不安	2 やや不安	3 あまり不安はない	4 全く不安はない
------------	-----------	---------------	--------------

B 深刻な病気にかかったときに医療費を払えない

1 非常に不安	2 やや不安	3 あまり不安はない	4 全く不安はない
------------	-----------	---------------	--------------

問 33. 過去1年間に、病気やケガにもかかわらず、病院や診療所に行くのを控えたことがありますか。軽い風邪や、虫歯の場合も含めてお答えください。

<p>1 控えた ことがある</p>	<p>2 控えた ことはない</p>	<p>3 病気・ケガは していない</p>
----------------------------	----------------------------	-------------------------------

問 34. それはなぜですか。あてはまるものをすべてに○をつけてください。

- 1 待ち時間が長い
- 2 費用がかかる
- 3 病院が近くにない
- 4 どの病院に行ったらよいかわからない
- 5 交通手段がない
- 6 病院に行くのは好きではない
- 7 忙しくて時間がない
- 8 病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した
- 9 保険が使えない
- 10 その他 ()

(次のページにお進みください)

5

ここからは、あなたがお住まいの地域の環境についておうかがいします。

問 47. あなたの日常生活は、次のことからどの程度被害を受けていますか。

	多大な被害	かなりの被害	多少の被害	被害はない
A 大気汚染	1	2	3	4
B 水質汚染	1	2	3	4
C 騒音被害	1	2	3	4
D 日照被害	1	2	3	4

問 48. あなたの家から1キロ（徒歩15分程度）以内の近隣の状況についておうかがいします。以下のことはどの程度あてはまりますか。

	よくあてはまる	あてはまる	どちらともいえません	あてはまらない	まったくあてはまらない
A 近隣を散歩するのは心地良い	1	2	3	4	5
B 近隣の人々は信頼できる	1	2	3	4	5
C 近隣の人と立ち話をするところがある	1	2	3	4	5
D 近隣の通りにはよくゴミが落ちている	1	2	3	4	5
E 近隣は夜でも安心して歩ける	1	2	3	4	5

ここからは、健康問題に関するあなたの考えや行動についておうかがいします。

問 49. あなたは過去1年の間に、インフルエンザの予防接種を受けましたか。

1 はい 2 いいえ

問 50. あなたはインフルエンザの流行についてどのくらい心配していますか。

1 非常に不安 2 やや不安 3 あまり不安はない 4 全く不安はない

問 51. あなたは新型インフルエンザが大流行する可能性について聞いたことがありますか。

1 はい 2 いいえ

問 52. あなたは新型インフルエンザの大流行についてどのくらい心配していますか。

1 非常に不安 2 やや不安 3 あまり不安はない 4 全く不安はない

問 53. あなたは以下のことを「やりすぎている」と感じたり、他人から「やりすぎ」だと注意されたことがありますか。

- A 飲酒 1 はい 2 いいえ
- B ギャンブル 1 はい 2 いいえ
- C ネットゲーム 1 はい 2 いいえ

問 54. あなたと一緒に暮らしている方の中には、以下のことをやりすぎている人がいますか。

- A 飲酒 1 はい 2 いいえ 3 ひとり暮らし
- B 喫煙 1 はい 2 いいえ 3 ひとり暮らし
- C ギャンブル 1 はい 2 いいえ 3 ひとり暮らし
- D ネットゲーム 1 はい 2 いいえ 3 ひとり暮らし

ここからは、ご家族の健康と介護の状況についておかがいします。

問 55. あなたのご家族には、長期にわたる心身の病気・障がいや高齢のためにケアが必要な方がいますか。(あなたとは別々に暮らしている方も含めてお考えください)

1 いる

2 いない

問 56. ケアを必要としている方は、あなたから見てどなたですか。2人以上いる場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------|-------------|
| 1 あなたの父親 | 7 祖母 |
| 2 あなたの母親 | 8 配偶者の父親 |
| 3 配偶者 | 9 配偶者の母親 |
| 4 息子 | 10 あなたの兄弟姉妹 |
| 5 娘 | |
| 6 祖父 | 11 その他 |

問 57. その方は、あなたと一緒に暮らしていますか。2人以上いる場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 一緒に暮らしている
- 2 別の家で暮らしている
- 3 病院・施設に入所している

問 58. その方は、どの程度のケアを必要としていますか。2人以上いる場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 日常生活の行為（入浴、着替、食事など）が、まったくできない
- 2 日常生活の行為が、ほとんどできない
- 3 日常生活の行為に、一部助けがある
- 4 日常生活の行為は一人ではできるが、少し複雑なこと（買い物、バスの利用、銀行振込など）には助けがある

問 59. あなたから見てどなたが、主にそのケアをしていますか。2人以上いる場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------|-------------------|
| 0 あなた自身 | 7 祖母 |
| 1 あなたの父親 | 8 配偶者の父親 |
| 2 あなたの母親 | 9 配偶者の母親 |
| 3 配偶者 | 10 あなたの兄弟姉妹 |
| 4 息子 | 11 ホームヘルパー |
| 5 娘 | 12 入所している病院・施設の職員 |
| 6 祖父 | 13 その他 |

(次のページにお進みください)

ここからは、精神的な健康についておかがいします。

問 60. あなたご自身はこれまでに精神的な健康問題に対する治療を受けたことがありますか。

1

はい

2

いいえ

3

答えたくない

問 61. あなたの知り合いに、精神的な健康に関して問題を抱えている人はいますか。

1

はい

2

いいえ

3

答えたくない

問 62. あなたの知り合いに、精神的な健康に関して治療を受けたことがある人はいますか。

1

はい

2

いいえ

3

答えたくない

4

わからない

問 63. 公共の場で精神的な健康に関して問題を抱えていそうな人を見かけることがありますか。

1

よくある

2

ときどきある

3

めったにない

4

まったくない

問 64. もし見かけたとしたら、どのように感じますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 親近感を持つ
- 2 恐怖心を持つ
- 3 何も感じない
- 4 避けたいと感じる
- 5 他人事とは思えない

最後に、統計的な整理のために、あなた自身のことについておうかがいします。

問 65. あなたの性別を教えてください。

- 1 男性 2 女性

問 66. あなたの年齢はこの中のどれにあてはまりますか。

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1 20～29 歳 | 4 50～59 歳 | 7 80 歳以上 |
| 2 30～39 歳 | 5 60～69 歳 | |
| 3 40～49 歳 | 6 70～79 歳 | |

問 67. 現在、あなたといっしょに住んでいる方は、どなたですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 配偶者 | 7 配偶者の親 |
| 2 子ども | 8 その他の親族 |
| 3 親 | 9 親族以外の方 |
| 4 祖父母 | |
| 5 子どもの配偶者 | 10 ひとり暮らし |
| 6 孫 | |

問 68. あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は、次のどれにあたりますか。中退も、卒業と同じ扱いでお答えください。（○はひとつだけ）

- 1 中学校（旧制小学校）
- 2 高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）
- 3 短大・高专
- 4 専門学校
- 5 大学（旧制高校・大学）・大学院
- 6 わからない

（裏面もごさいます）

問 69. あなたの現在のお仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。（○はひとつだけ）

- 1 自営業主・自由業者・家族従業員
- 2 経営者・役員
- 3 正規の職員・社員
- 4 公務員
- 5 パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣
- 6 学生
- 7 仕事をしていない（専業主婦、退職者など）
- 8 わからない

問 70. あなたの現在のお仕事の種類は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。（○はひとつだけ）

- 1 上級管理職（経営者、役員、部長など）
- 2 中間管理職（課長、店長など）
- 3 専門・技術（技術者、教員、弁護士など）
- 4 事務（総務、経理、企画、営業事務など）
- 5 販売（小売店主、店員、外交員など）
- 6 サービス（理美容、調理、家事サービスなど）
- 7 運輸・通信（運転手、船員、通信員、郵便外務など）
- 8 保安・警備（守衛、警官、自衛官など）
- 9 製造・建設（工場作業・建築業者など）
- 10 農林漁業・鉱業
- 11 わからない

この調査票のなかで、答えにくかった、分かりづかった質問や表現がありましたら、お気づきになったことを下の枠内にご自由にお書き下さい。よろしく願います。

長時間のご協力、誠にありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、ポストにご投函いただきますよう、お願い申し上げます。

（問 1～8 までは下記のライセンス契約の上で使用しています）
SF-8™ Health Survey (Standard, Japanese version)
Copyright © 1999, 2000, 2003 by QualityMetric Incorporated
and Shunichi Fukuhara. All rights reserved.
SF-8™ は QualityMetric の登録商標です。

JGSS 第1回プリテスト (EASS 2010 健康モジュール) の結果：度数分布表

※選択肢のラベルは簡略化している場合があります。

健康状態

問1. 全体的にみて、過去1ヵ月間のあなたの健康状態はいかがでしたか。

	度数	パーセント
1 最高に良い	1	0.6
2 とても良い	34	20.0
3 良い	85	50.0
4 あまり良くない	39	22.9
5 良くない	5	2.9
6 ぜんぜん良くない	5	2.9
合計	169	99.4
9 無回答	1	0.6
	170	100.0

問2. 過去1ヵ月間に、体を使う日常活動（歩いたり階段を昇ったりなど）をすることが身体的な理由でどのくらい妨げられましたか。

	度数	パーセント
1 ぜんぜん妨げられなかった	81	47.6
2 わずかに妨げられた	43	25.3
3 少し妨げられた	33	19.4
4 かなり妨げられた	10	5.9
5 体を使う日常活動ができなかった	2	1.2
合計	169	99.4
9 無回答	1	0.6
	170	100.0

問3. 過去1ヵ月間に、いつもの仕事（家事も含みます）をすることが、身体的な理由でどのくらい妨げられましたか。

	度数	パーセント
1 ぜんぜん妨げられなかった	81	47.6
2 わずかに妨げられた	46	27.1
3 少し妨げられた	25	14.7
4 かなり妨げられた	14	8.2
5 いつもの仕事ができなかった	2	1.2
合計	168	98.8
9 無回答	2	1.2
	170	100.0

問4. 過去1ヵ月間に、体の痛みはどのくらいありましたか。

	度数	パーセント
1 ぜんぜんなかった	45	26.5
2 かすかな痛み	49	28.8
3 軽い痛み	42	24.7
4 中くらいの痛み	20	11.8
5 強い痛み	11	6.5
6 非常に激しい痛み	2	1.2
合計	169	99.4
9 無回答	1	0.6
	170	100.0

問5. 過去1ヵ月間、どのくらい元気でしたか。

	度数	パーセント
1 非常に元気だった	21	12.4
2 かなり元気だった	73	42.9
3 少し元気だった	53	31.2
4 わずかに元気だった	18	10.6
5 ぜんぜん元気でなかった	3	1.8
合計	168	98.8
9 無回答	2	1.2
	170	100.0

問6. 過去1ヵ月間に、家族や友人とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか。

	度数	パーセント
1 ぜんぜん妨げられなかった	76	44.7
2 わずかに妨げられた	43	25.3
3 少し妨げられた	40	23.5
4 かなり妨げられた	6	3.5
5 つきあいができなかった	4	2.4
合計	169	99.4
9 無回答	1	0.6
	170	100.0

問7. 過去1ヵ月間に、心理的な問題（不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり）に、どのくらい悩まされましたか。

	度数	パーセント
1 ぜんぜん悩まされなかった	37	21.8
2 わずかに悩まされた	57	33.5
3 少し悩まされた	56	32.9
4 かなり悩まされた	13	7.6
5 非常に悩まされた	6	3.5
合計	169	99.4
9 無回答	1	0.6
	170	100.0

問8. 過去1ヵ月間に、日常行う活動（仕事、学校、家事などのふだんの行動）が、心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか。

	度数	パーセント
1 ぜんぜん妨げられなかった	67	39.4
2 わずかに妨げられた	49	28.8
3 少し妨げられた	40	23.5
4 かなり妨げられた	12	7.1
5 日常行う活動ができなかった	1	0.6
合計	169	99.4
9 無回答	1	0.6
	170	100.0

問 9. あなたはこれまでに高血圧と診断されたことがありますか。

	度数	パーセント
1 はい	38	22.4
2 いいえ	129	75.9
合計	167	98.2
9 無回答	3	1.8
	170	100.0

問 10. はじめてそう診断されたのはいつですか。

	度数	パーセント
1960年代	1	0.6
1970年代	3	1.8
1980年代	7	4.1
1990年代	6	3.5
2000年代	18	10.6
合計	35	20.6
非該当	129	75.9
無回答	6	3.5
合計	135	79.4
	170	100.0

問 11. この2週間に、高血圧の治療を受けたり、薬を飲んだりしましたか。

	度数	パーセント
1 はい	24	14.1
2 いいえ	14	8.2
合計	38	22.4
8 非該当	129	75.9
9 無回答	3	1.8
合計	132	77.6
	170	100.0

問 12. あなたはこれまでに糖尿病と診断されたことがありますか。

	度数	パーセント
1 はい	10	5.9
2 いいえ	156	91.8
合計	166	97.6
9 無回答	4	2.4
	170	100.0

問 13. はじめてそう診断されたのはいつですか。

	度数	パーセント
1960年代	1	0.6
1970年代	0	0.0
1980年代	1	0.6
1990年代	4	2.4
2000年代	3	1.8
合計	9	5.3
非該当	156	91.8
無回答	5	2.9
合計	161	94.7
	170	100.0

問 14. この2週間に、糖尿病の治療を受けたり、薬を飲んだりしましたか。

	度数	パーセント
1 はい	5	2.9
2 いいえ	4	2.4
合計	9	5.3
8 非該当	156	91.8
9 無回答	5	2.9
合計	161	94.7
	170	100.0

問 15. あなたはこれまでに高脂血症（脂質異常症）と診断されたことがありますか。

	度数	パーセント
1 はい	17	10.0
2 いいえ	148	87.1
合計	165	97.1
9 無回答	5	2.9
	170	100.0

問 16. はじめてそう診断されたのはいつですか。

	度数	パーセント
1980年代	4	2.4
1990年代	5	2.9
2000年代	8	4.7
合計	17	10.0
非該当	148	87.1
無回答	5	2.9
合計	153	90.0
	170	100.0

問 17. この2週間に、高脂血症の治療を受けたり、薬を飲んだりしましたか。

	度数	パーセント
1 はい	7	4.1
2 いいえ	8	4.7
合計	15	8.8
8 非該当	148	87.1
9 無回答	7	4.1
合計	155	91.2
	170	100.0

問 18. あなたの身長を教えてください。

	度数	パーセント
150cm未満	12	7.1
150-160cm未満	57	33.5
160-170cm未満	59	34.7
170-180cm未満	36	21.2
180cm以上	3	1.8
合計	167	98.2
無回答	3	1.8
	170	100.0

問 19. あなたの体重を教えてください。

	度数	パーセント
50kg未満	32	18.8
50-60kg未満	57	33.5
60-70kg未満	54	31.8
70-80kg未満	14	8.2
80kg以上	8	4.7
合計	165	97.1
無回答	5	2.9
	170	100.0

問 20. 日常生活の中でどのくらい生きがいや張合いはりあがありますか。

	度数	パーセント
1 非常にある	27	15.9
2 ある程度ある	113	66.5
3 あまりない	28	16.5
4 まったくない	2	1.2
合計	170	100.0

問 21. 日常生活の中でどのくらい精神的疲労やストレスを感じますか。

	度数	パーセント
1 よく感じる	28	16.5
2 ときどき感じる	101	59.4
3 あまり感じない	32	18.8
4 まったく感じない	9	5.3
合計	170	100.0

健康行動

問 22. あなたは今までに煙草（タバコ）を吸ったことがありますか。

	度数	パーセント
1 吸ったことがある	90	52.9
2 吸ったことはない	79	46.5
合計	169	99.4
9 無回答	1	0.6
	170	100.0

問 23. あなたは現在、煙草（タバコ）を吸いますか。

	度数	パーセント
1 毎日吸っている	34	20.0
2 毎日ではないが吸うことがある	7	4.1
3 現在はまったく吸わない	48	28.2
合計	89	52.4
8 非該当	79	46.5
9 無回答	2	1.2
合計	81	47.6
	170	100.0

問 24. あなたが毎日煙草（タバコ）を吸っていた期間は、合計でどのくらいですか。

	度数	パーセント
10年未満	19	11.2
10-20年未満	13	7.6
20-30年未満	25	14.7
30-40年未満	8	4.7
40-50年未満	13	7.6
50年以上	4	2.4
合計	82	48.2
非該当	79	46.5
無回答	9	5.3
合計	88	51.8
	170	100.0

問 25. あなたはお酒（アルコール含有飲料）をどのくらいの頻度で飲みますか。

	度数	パーセント
1 飲まない	59	34.7
2 1か月に1回以下	26	15.3
3 1か月に2~4回	19	11.2
4 1週間に2~3回	23	13.5
5 1週間に4回以上	41	24.1
合計	168	98.8
9 無回答	2	1.2
	170	100.0

問 26. 飲酒するときには通常どのくらいの量を飲みますか。

ただし、日本酒 1 合 = 2 単位、ビール大瓶 1 本 = 2.5 単位、ウイスキー水割りダブル 1 杯 = 2 単位、焼酎お湯割り 1 杯 = 1 単位、ワイングラス 1 杯 = 1.5 単位、梅酒小コップ 1 杯 = 1 単位

	度数	パーセント
1 1~2単位	71	41.8
2 3~4単位	35	20.6
3 5~6単位	12	7.1
4 7~9単位	3	1.8
合計	121	71.2
9 無回答	49	28.8
	170	100.0

問 27. 1 度に 6 単位以上飲酒することがどのくらいの頻度でありますか。

	度数	パーセント
1 ない	89	52.4
2 1か月に1回未満	27	15.9
3 1か月に1回	9	5.3
4 1週間に1回	11	6.5
5 毎日あるいはほとんど毎日	6	3.5
合計	142	83.5
9 無回答	28	16.5
	170	100.0

問 28. あなたは週に何回くらい運動したり汗をかく活動を行ないますか。

	度数	パーセント
1 まったくしない	60	35.3
2 週1回未満	29	17.1
3 週1回	17	10.0
4 週2~3回	32	18.8
5 週4~6回	24	14.1
6 週7回以上	4	2.4
合計	166	97.6
9 無回答	4	2.4
	170	100.0

問 29. あなたは過去 3 年の間に、健康診断を受けましたか。

	度数	パーセント
1 はい	129	75.9
2 いいえ	39	22.9
合計	168	98.8
9 無回答	2	1.2
	170	100.0

医療・保険

問 30. あなたはこれまでに、1週間以上の入院をしたことがありますか。

	度数	パーセント
1 10回以上ある	2	1.2
2 5回程度ある	7	4.1
3 2~3回程度ある	25	14.7
4 1回だけある	59	34.7
5 まったくない	75	44.1
合計	168	98.8
9 無回答	2	1.2
	170	100.0

問 31. 過去1年間に、あなたはどのくらいの頻度で、病院や診療所（歯医者も含む）に行きましたか。あなた自身の病気やケガによるものについてお答えください。付き添いやお見舞いは除きます。

	度数	パーセント
1 ほとんど毎日	2	1.2
2 週に数回	8	4.7
3 週に1回程度	22	12.9
4 月に1回程度	46	27.1
5 年に数回	50	29.4
6 年に1回程度	20	11.8
7 まったくない	21	12.4
合計	169	99.4
9 無回答	1	0.6
	170	100.0

問 32. ご自身やご家族の将来のことを考えたとき、以下の点についてどの程度不安を感じますか。

A 必要なときに医療を受けられない

	度数	パーセント
1 非常に不安	57	33.5
2 やや不安	54	31.8
3 あまり不安はない	43	25.3
4 全く不安はない	15	8.8
合計	169	99.4
9 無回答	1	0.6
	170	100.0

B 深刻な病気にかかったときに医療費を払えない

	度数	パーセント
1 非常に不安	57	33.5
2 やや不安	62	36.5
3 あまり不安はない	37	21.8
4 全く不安はない	13	7.6
合計	169	99.4
9 無回答	1	0.6
	170	100.0

問 33. 過去1年間に、病気やケガにもかかわらず、病院や診療所に行くのを控えたことがありますか。軽い風邪や、虫歯の場合も含めてお答えください。

	度数	パーセント
1 控えたことがある	77	45.3
2 控えたことはない	81	47.6
3 病気・ケガはしていない	11	6.5
合計	169	99.4
9 無回答	1	0.6
	170	100.0

問 34. それはなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

n=170	選択	非選択	非該当	無回答
1 待ち時間が長い	19.4	26.5	53.5	0.6
2 費用がかかる	19.4	26.5	53.5	0.6
3 病院が近くにない	1.8	44.1	53.5	0.6
4 病院がわからない	4.7	41.2	53.5	0.6
5 交通手段がない	1.2	44.7	53.5	0.6
6 病院が好きではない	20.0	25.9	53.5	0.6
7 忙しくて時間がない	20.0	25.9	53.5	0.6
8 病院に行くほどでない	28.2	17.6	53.5	0.6
9 保険が使えない	0.0	45.9	53.5	0.6
10 その他	1.8	44.1	53.5	0.6

問 35. あなたは以下の療法を受けたことがありますか。

n=170	はい	いいえ	無回答
鍼・灸	29.4	57.6	12.9
漢方薬	24.7	59.4	15.9
指圧・マッサージ	48.8	44.1	7.1
温泉	1.8	77.1	21.2

問 36. あなたは次のうちの公的医療保険の対象になっていますか。

	度数	パーセント
1 国民健康保険	74	43.5
2 被用者保険	83	48.8
3 後期高齢者医療制度	9	5.3
合計	166	97.6
9 無回答	4	2.4
	170	100.0

問 37. 公的医療保険の保険料を支払っているのは主にどなたですか。事業主の負担分は除いてください。

	度数	パーセント
1 あなた自身	117	68.8
2 ご家族	50	29.4
合計	167	98.2
9 無回答	3	1.8
	170	100.0

問 38. 公的医療保険とは別に、民間の医療保険（入院給付金や手術給付金など）に入っていますか。

	度数	パーセント
1 はい	107	62.9
2 いいえ	60	35.3
合計	167	98.2
9 無回答	3	1.8
	170	100.0

社会的サポート・信頼

問 39. 過去1年間、必要なときに心配事を聞いてくれた人はいますか。

	度数	パーセント
1 はい	127	74.7
2 いいえ	13	7.6
3 心配事はなかった	29	17.1
合計	169	99.4
9 無回答	1	0.6
	170	100.0

問 44. それは誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	選択	非選択	非該当	無回答
n=170				
同居家族	32.9	8.8	57.1	1.2
その他の親族	17.6	24.1	57.1	1.2
仕事の同僚	0.6	41.2	57.1	1.2
近所の人	1.8	40.0	57.1	1.2
友人	3.5	38.2	57.1	1.2
その他	1.2	40.6	57.1	1.2

問 40. それは誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	選択	非選択	非該当	無回答
n=170				
同居家族	58.2	15.9	24.7	1.2
その他の親族	24.7	49.4	24.7	1.2
仕事の同僚	16.5	57.6	24.7	1.2
近所の人	5.9	68.2	24.7	1.2
友人	32.4	41.8	24.7	1.2
その他	1.2	72.9	24.7	1.2

問 45. 一般的に、人は信用できると思いますか。

	度数	パーセント
1 はい	45	26.5
2 いいえ	15	8.8
3 場合による	107	62.9
合計	167	98.2
9 無回答	3	1.8
	170	100.0

問 41. 過去1年間、必要なときに経済的な面で助けてくれた人はいますか。

	度数	パーセント
1 はい	62	36.5
2 いいえ	27	15.9
3 経済的な援助を必要としたことはない	78	45.9
合計	167	98.2
9 無回答	3	1.8
	170	100.0

問 46. 人間の本性について、あなたはどのようにお考えですか。番号（1～7）を1つ選んでください。

	度数	パーセント
1 本来「悪」である	1	0.6
2	4	2.4
3	16	9.4
4	51	30.0
5	38	22.4
6	29	17.1
7 本来「善」である	27	15.9
合計	166	97.6
9 無回答	4	2.4
	170	100.0

問 42. それは誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	選択	非選択	非該当	無回答
n=170				
同居家族	25.3	11.2	62.9	0.6
その他の親族	15.9	20.6	62.9	0.6
仕事の同僚	0.6	35.9	62.9	0.6
近所の人	0.0	36.5	62.9	0.6
友人	2.9	33.5	62.9	0.6
その他	0.0	36.5	62.9	0.6

問 43. 過去1年間、必要なときに家事・育児・介護などの手助けをしてくれた人はいますか。

	度数	パーセント
1 はい	71	41.8
2 いいえ	23	13.5
3 手助けを必要としたことはない	74	43.5
合計	168	98.8
9 無回答	2	1.2
	170	100.0

環境

問 47. あなたの日常生活は、次のことからどの程度被害を受けていますか。

A 大気汚染

	度数	パーセント
1 多大な被害	2	1.2
2 かなりの被害	18	10.6
3 多少の被害	74	43.5
4 被害はない	64	37.6
合計	158	92.9
9 無回答	12	7.1
	170	100.0

B 水質汚染

	度数	パーセント
1 多大な被害	1	0.6
2 かなりの被害	5	2.9
3 多少の被害	45	26.5
4 被害はない	104	61.2
合計	155	91.2
9 無回答	15	8.8
	170	100.0

C 騒音被害

	度数	パーセント
1 多大な被害	2	1.2
2 かなりの被害	17	10.0
3 多少の被害	70	41.2
4 被害はない	74	43.5
合計	163	95.9
9 無回答	7	4.1
	170	100.0

D 日照被害

	度数	パーセント
1 多大な被害	4	2.4
2 かなりの被害	9	5.3
3 多少の被害	35	20.6
4 被害はない	113	66.5
合計	161	94.7
9 無回答	9	5.3
	170	100.0

問 48. あなたの家から1キロ（徒歩15分程度）以内の近隣の状況についておうかがいします。以下のことはどの程度あてはまりますか。

A 近隣を散歩するのは心地良い

	度数	パーセント
1 よくあてはまる	21	12.4
2 あてはまる	53	31.2
3 どちらともいえない	60	35.3
4 あてはまらない	23	13.5
5 まったくあてはまらない	6	3.5
合計	163	95.9
9 無回答	7	4.1
	170	100.0

B 近隣の人々は信頼できる

	度数	パーセント
1 よくあてはまる	8	4.7
2 あてはまる	47	27.6
3 どちらともいえない	91	53.5
4 あてはまらない	10	5.9
5 まったくあてはまらない	8	4.7
合計	164	96.5
9 無回答	6	3.5
	170	100.0

C 近隣の人と立ち話をすることがある

	度数	パーセント
1 よくあてはまる	14	8.2
2 あてはまる	77	45.3
3 どちらともいえない	25	14.7
4 あてはまらない	18	10.6
5 まったくあてはまらない	31	18.2
合計	165	97.1
9 無回答	5	2.9
	170	100.0

D 近隣の通りにはよくゴミが落ちている

	度数	パーセント
1 よくあてはまる	14	8.2
2 あてはまる	26	15.3
3 どちらともいえない	46	27.1
4 あてはまらない	60	35.3
5 まったくあてはまらない	18	10.6
合計	164	96.5
9 無回答	6	3.5
	170	100.0

E 近隣は夜でも安心して歩ける

	度数	パーセント
1 よくあてはまる	12	7.1
2 あてはまる	39	22.9
3 どちらともいえない	76	44.7
4 あてはまらない	21	12.4
5 まったくあてはまらない	16	9.4
合計	164	96.5
9 無回答	6	3.5
	170	100.0

インフルエンザ

問 49. あなたは過去1年の間に、インフルエンザの予防接種を受けましたか。

	度数	パーセント
1 はい	70	41.2
2 いいえ	100	58.8
合計	170	100.0

問 50. あなたはインフルエンザの流行についてどのくらい心配していますか。

	度数	パーセント
1 非常に不安	30	17.6
2 やや不安	90	52.9
3 あまり不安はない	48	28.2
4 全く不安はない	2	1.2
合計	170	100.0

問 51. あなたは新型インフルエンザが大流行する可能性について聞いたことがありますか。

	度数	パーセント
1 はい	159	93.5
2 いいえ	10	5.9
合計	169	99.4
9 無回答	1	0.6
	170	100.0

問 52. あなたは新型インフルエンザの大流行についてどのくらい心配していますか。

	度数	パーセント
1 非常に不安	50	29.4
2 やや不安	82	48.2
3 あまり不安はない	26	15.3
4 全く不安はない	1	0.6
合計	159	93.5
8 非該当	10	5.9
9 無回答	1	0.6
合計	11	6.5
	170	100.0

耽溺行動

問 53. あなたは以下のことを「やりすぎている」と感じたり、他人から「やりすぎ」だと注意されたことがありますか。

n=170	はい	いいえ	無回答
飲酒	11.2	87.6	1.2
ギャンブル	7.1	90.6	2.4
ネットゲーム	1.2	95.9	2.9

問 54. あなたと一緒に暮らしている方の中には、以下のことをやりすぎている人がいますか。

n=170	はい	いいえ	ひとり暮らし	無回答
飲酒	12.4	76.5	9.4	1.8
喫煙	14.7	72.4	9.4	3.5
ギャンブル	3.5	82.9	9.4	4.1
ネットゲーム	1.8	85.3	9.4	3.5

介護

問 55. あなたのご家族には、長期にわたる心身の病気・障がいや高齢のためにケアが必要な方がいますか。(あなたとは別々に暮らしている方も含めてお考えください)

	度数	パーセント
1 いる	40	23.5
2 いない	127	74.7
合計	167	98.2
9 無回答	3	1.8
	170	100.0

問 56. ケアを必要としている方は、あなたから見てどなたですか。2人以上いる場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

	選択	非選択	非該当	無回答
n=170				
あなたの父親	2.9	20.6	74.7	1.8
あなたの母親	6.5	17.1	74.7	1.8
配偶者	2.4	21.2	74.7	1.8
息子	0.0	23.5	74.7	1.8
娘	0.0	23.5	74.7	1.8
祖父	1.8	21.8	74.7	1.8
祖母	4.1	19.4	74.7	1.8
配偶者の父親	2.9	20.6	74.7	1.8
配偶者の母親	4.1	19.4	74.7	1.8
あなたの兄弟姉妹	2.9	20.6	74.7	1.8
その他	1.8	21.8	74.7	1.8

問 57. その方は、あなたと一緒に暮らしていますか。2人以上いる場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

	選択	非選択	非該当	無回答
n=170				
一緒の家	7.1	16.5	74.7	1.8
別の家	12.4	11.2	74.7	1.8
病院・施設	4.7	18.8	74.7	1.8

問 58. その方は、どの程度のケアを必要としていますか。2人以上いる場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

	選択	非選択	非該当	無回答
n=170				
日常生活行為がまったくできない	4.1	18.8	74.7	2.4
日常生活行為がほとんどできない	1.2	21.8	74.7	2.4
日常生活行為に一部助けがいる	9.4	13.5	74.7	2.4
日常生活行為は一人できる	12.9	10.0	74.7	2.4

問 59. あなたから見てどなたが、主にそのケアをしていますか。2人以上いる場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

	選択	非選択	非該当	無回答
n=170				
あなた自身	6.5	17.1	74.7	1.8
あなたの父親	1.2	22.4	74.7	1.8
あなたの母親	3.5	20.0	74.7	1.8
配偶者	2.4	21.2	74.7	1.8
息子	1.2	22.4	74.7	1.8
娘	1.8	21.8	74.7	1.8
祖父	0.0	23.5	74.7	1.8
祖母	0.6	22.9	74.7	1.8
配偶者の父親	1.8	21.8	74.7	1.8
配偶者の母親	2.4	21.2	74.7	1.8
あなたの兄弟姉妹	6.5	17.1	74.7	1.8
ホームヘルパー	2.4	21.2	74.7	1.8
病院・施設の職員	5.3	18.2	74.7	1.8
その他	2.4	21.2	74.7	1.8

精神的健康

問 60. あなたご自身はこれまでに精神的な健康問題に対する治療を受けたことがありますか。

	度数	パーセント
1 はい	13	7.6
2 いいえ	155	91.2
合計	168	98.8
9 無回答	2	1.2
	170	100.0

問 64. もし見かけたとしたら、どのように感じますか。あてはまるものに 1つだけ○をつけてください。

	度数	パーセント
1 親近感	3	1.8
2 恐怖心	12	7.1
3 何も感じない	28	16.5
4 避けたい	41	24.1
5 他人事でない	70	41.2
合計	154	90.6
9 無回答	16	9.4
	170	100.0

問 61. あなたの知り合いに、精神的な健康に関して問題を抱えている人はいますか。

	度数	パーセント
1 はい	48	28.2
2 いいえ	118	69.4
3 答えたくない	2	1.2
合計	168	98.8
9 無回答	2	1.2
	170	100.0

問 62. あなたの知り合いに、精神的な健康に関して治療を受けたことがある人はいますか。

	度数	パーセント
1 はい	50	29.4
2 いいえ	96	56.5
3 答えたくない	2	1.2
4 わからない	20	11.8
合計	168	98.8
9 無回答	2	1.2
	170	100.0

問 63. 公共の場で精神的な健康に関して問題を抱えていそうな人を見かけることがありますか。

	度数	パーセント
1 よくある	11	6.5
2 ときどきある	75	44.1
3 めったにない	59	34.7
4 まったくない	23	13.5
合計	168	98.8
9 無回答	2	1.2
	170	100.0

基本属性

問 65. あなたの性別を教えてください。

	度数	パーセント
1 男性	83	48.8
2 女性	84	49.4
合計	167	98.2
9 無回答	3	1.8
	170	100.0

問 66. あなたの年齢はこの中のどれにあてはまりますか。

	度数	パーセント
1 20-29歳	20	11.8
2 30-39歳	29	17.1
3 40-49歳	31	18.2
4 50-59歳	18	10.6
5 60-69歳	34	20.0
6 70-79歳	30	17.6
7 80歳以上	5	2.9
合計	167	98.2
9 無回答	3	1.8
	170	100.0

問 67. 現在、あなたといっしょに住んでいる方は、どなたですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

n=170	選択	非選択	無回答
配偶者	64.7	34.1	1.2
子ども	47.6	51.2	1.2
親	15.9	82.9	1.2
祖父母	2.4	96.5	1.2
子どもの配偶者	1.8	97.1	1.2
孫	3.5	95.3	1.2
配偶者の親	3.5	95.3	1.2
その他の親族	5.9	92.9	1.2
親族以外の方	2.4	96.5	1.2
ひとり暮らし	11.8	87.1	1.2

問 68. あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は、次のどれにあたりますか。中退も、卒業と同じ扱いでお答えください。（○はひとつだけ）

	度数	パーセント
1 中学校	27	15.9
2 高校	60	35.3
3 短大・高専	14	8.2
4 専門学校	22	12.9
5 大学・大学院	39	22.9
6 わからない	4	2.4
合計	166	97.6
9 無回答	4	2.4
	170	100.0

問 69. あなたの現在のお仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。（○はひとつだけ）

	度数	パーセント
1 自営業主・自由業者 ・家族従業員	19	11.2
2 経営者・役員	4	2.4
3 正規の職員・社員	47	27.6
4 公務員	2	1.2
5 パート・アルバイト ・嘱託・臨時・派遣	28	16.5
6 学生	6	3.5
7 仕事をしていない （専業主婦、退職者など）	62	36.5
8 わからない	1	0.6
合計	169	99.4
9 無回答	1	0.6
	170	100.0

問 70. あなたの現在のお仕事の種類は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。（○はひとつだけ）

	度数	パーセント
1 上級管理職	7	4.1
2 中間管理職	16	9.4
3 専門・技術	15	8.8
4 事務	9	5.3
5 販売	14	8.2
6 サービス	9	5.3
7 運輸・通信	5	2.9
8 保安・警備	3	1.8
9 製造・建設	19	11.2
11 わからない	3	1.8
合計	100	58.8
88 非該当	68	40.0
99 無回答	2	1.2
合計	70	41.2
	170	100.0